

## 第4段階：ガリラヤにおける大宣教

### G. ガリラヤへの第二の旅

#### 12. イエスは若い女性を死から蘇らせる（奇跡その15）

##### デイリー・ジーザス・ニュース #098

基本テキスト: マルコ 5.21-24, 35-43 (並行テキスト: マタイ 9.18-19, 23-26; ルカ 8.40-42, 49-56)

21 イエスが再び舟に乗って湖の向こう岸へ渡られると、湖のほとりにおられると、大勢の群衆がイエスの周りに集まってきた。

22 そのとき、会堂長のひとりで、ヤイロという人が来て、イエスを見ると、その足もとにひれ伏した。彼には十二歳くらいのひとり娘がいたが、死にかけていた。23 彼は熱心にイエスに願った。「私の幼い娘が死にかけています。どうか来て、手を娘に置いてください。そうすれば、娘はいやされ、本当に生き返るでしょう。」

24 そこでイエスは彼といっしょに出かけ、弟子たちも一緒に出かけた。

35 イエスがまだ話しておられるうちに、会堂司ヤイロの家から人々がやって来て、「あなたの娘さんは亡くなりました。なぜ先生にこれ以上迷惑をかけるのですか」と言った。

36 イエスは彼らの言うことを聞いても、それを否定し、彼にこう言われた。「**恐れることはない。ただ信じ続けなさい。** そうすれば彼女は癒される。」

37 <sup>M</sup>イエスは、ペトロとヤコブとヤコブの兄弟ヨハネのほかは、だれも従わせなかった。38 彼らが会堂司の家に着くと、イエスは騒ぎを見て、笛吹きたちと大声で泣き叫ぶ人々を見て、39 イエスは中に入って彼らに言われた。

**「なぜこんなに騒がしくて泣き叫んでいるのですか？子供は死んでいません、眠っているだけです。」**

40 しかし彼らはイエスを笑っていた。

イエスは皆を外に出してから、その子の父と母、そして一緒にいた弟子たちだけを連れて、その子のいる所に入って行かれた。

41 そしてイエスは彼女の手を取って言われた、「**タリタ・クム!**」(これは「**少女よ、命じる。起きなさい!**」という意味である)。

42 すると、娘は元気を取り戻し、すぐに立ち上がり、家の中を歩き回り始めました(彼女は十二歳でした)。人々は皆、これに大変驚きました。43 イエスは、このことをだれにも知らせないようにと、また、娘に何か食べ物を与えるようにと、厳重に命じられました。この話は、この地方全体に広まりました。

=====

注: 私たちは「混合テキスト」の原典福音書を次のように上付き文字で識別します: マタイ = <sup>MT</sup>、マーク = <sup>M</sup>、ルカ = <sup>L</sup>、ヨハネ = <sup>J</sup>、使徒行伝 = <sup>A</sup>。この「上付きID」は引用文の冒頭に挿入され、別の上付き文字が現れるまで

## 第4段階：ガリラヤにおける大宣教

その聖書を識別します。さらに、*イエスの言葉は赤字で斜体で書かれています*。旧約聖書からの引用は大文字で書かれています。

コンテキストダイジェスト	
位置	ガリラヤ湖畔の町、おそらくカペナウム
タイムライン	5月～10月（16～21か月目）
イエスの生涯の文脈	第4段階：ガリラヤにおける大宣教
	G. 第2 <sup>回</sup> ガリラヤ巡礼
タイトル	12. イエスは若い女性を死から蘇らせる（奇跡その15）

コメント：

前の朗読でゲラサの町から追い出された後、イエスは再び船でガリラヤ湖を渡りました。今日の朗読は湖畔の町の名前は不明ですが、カペナウムであった可能性が高いです。

この力強い六つの奇跡の三番目は、イエスが死者を蘇らせたもう一つの例です。数か月前、イエスは一人息子である若い男を、ただ一言で死から蘇らせました（DAILY JESUS NEWS #82、ルカ7:11-19）。今日の朗読では、イエスは一人娘、12歳くらいの若い女性を蘇らせました。一人息子と一人娘がイエスによって死から蘇るという二重の出来事は偶然ではありません。それは、神の唯一無二の独り子であるイエスご自身の復活を私たちに備えさせるものだからです。

この奇跡（15）とそれに続く奇跡（16）には、3つの共通点があります。まず、それらは同時に起こったことです。イエスは、ヤイ口の家へ娘を蘇らせるために歩いている途中、12年間も出血を患っていた女性を癒されました。次に、これらの奇跡はどちらも、イエスの死に対する力を示しています。止まらない出血に苦しむ女性は、どんな医者も治すことのできない生きた死を経験していました。ヤイ口」、娘は、どんな人間の医者の手も及ばないほど、実際に死んでいました。私たちはここで偉大な医者」であり、死を治す主であるイエスの力を見ます。最後に、どちらの奇跡も、イエスに従うことにおける信仰の役割と重要性を強調しています。

イエスは、一人っ子を亡くした両親に深い憐れみを示されました。そして、幼い我が子の死に向き合うという、生涯続く苦しみから彼らを救ってくださいました。親にとって、子の死と共に生きることは、この世で終わることのない深い悲しみの源です。この奇跡は、私たちに対する父なる神の愛を思い起こさせるものです。神は、私たちが永遠の命を得られるように、ご自分の一人子を死から救い出してくださいました。この奇跡に、私たちはなんと素晴らしい恵みを見ることができるのでしょうか。

イエスはこの奇跡を用いて信仰を強調しました。娘が亡くなったという知らせを受けた後も、父親のヤイ口にイエスを信じ続けるように命じました。イエスは既にこの若い女性を癒やすと約束しておられました。約束された以上、少女の死は恐れるに足りません！イエスはヤイ口に、娘は必ず癒やされると念を押しまし

## 第4段階：ガリラヤにおける大宣教

た。この奇跡を行う方法において、イエスは真に驚くべき信仰を示しました。その過程を辿ってみましょう。

まず、少女の死の知らせが届いた時、イエスはそれを認めようとしませんでした。イエスは少女の復活を信じていたものであり、表面的な状況を信じていたのではありません。彼らが家に着いた時、すでに1週間にわたる喪の期間が始まっていました。人々は泣き叫び、笛で葬式の音楽を奏で、喪服を着て頭に土と灰をかぶって床に座っていました。イエスはそれを見て、少女はただ「眠っている」だけなので、彼らに泣き止むように言いました。これはどういう意味だったのでしょうか。

新約聖書では、「眠り」という言葉は、肉体は死んでいるものの、霊は神の御前に生き、復活を待つ人々の状態を表すために使われています。「死んでいる」という言葉は、肉体は死に、地獄で神の御前から永遠に隔てられて過ごす運命にある人々を表します。イエスは少女を「眠っている」と表現することで、彼女が復活するだろうと告げていましたが、それは彼らが信じていたよりも遅くはなく、むしろ早く来るだろうと。イエスは自分が何をしようとしているのかを知っていました。

イエスがこう言った時、会葬者の群衆は実際に大声で笑いました。彼らはイエスを笑い続けました。これは私たちのほとんどにとって、信仰にとってなんと大きな打撃となることでしょう。私たちは奇跡が起こると告げると、友人や家族が吹き出し、信じられない様子で私たちを嘲笑します。しかし、イエスの信仰は、周囲の人々の意見に基づいていなかったため、決して揺るがされることも弱まることもありませんでした。イエスの信仰は、少女の復活について父なる神が既に啓示しておられたことに基づいていたのです。

イエスは、彼女の両親とペテロ、ヤコブ、ヨハネを、愛する娘が横たわる部屋に連れて行き、死からよみがえるように命じました。娘は生き返りました。家の中を元気に歩き回り、食欲も回復したことからわかるように、彼女は生き生きとした健全な状態に戻りました。ナインの若者のように、イエスは言葉によって彼女をよみがえらせました。この同じ力こそが、イエスを信じる私たち皆に、三位一体の御前でイエスと共に永遠の命を得ることを保証しているのです。

イエスが若い女性が亡くなっている部屋へ、たった3人の男性だけを連れて入ったことに私たちは気づきました。これはイエスがこの3人をグループとして呼び寄せた最初の例です。これは後にパターン化されるでしょう。イエスは第二巡回において、弟子訓練に重点を置きました。すでに弟子たちと個人的に時間を過ごし、たとえ話の意味を説明し始めていました。そして今、ペテロ、ヤコブ、ヨハネと過ごす特別な時間も加えられました。

十二使徒の中で、主は将来の指導者となる三人の中核となる人物に、特別な訓練の時間を費やすことを選ばれました。ペテロとヨハネはエルサレム教会の主要指導者となり、四福音書のうち二部（マルコとヨハネ）、五つの手紙（ペテロ第一と第二、ヨハネ第一、第二、第三）、そして黙示録の内容を生み出しました。ヤコブは教会時代の最初の殉教者となりました。初期の教会を築き、信仰のために命を落とし、新約聖書の約40%を記したこの三人（ヤコブとペテロ）に時間を集中させたとき、イエスは自分が何をしているのかを知っていました。

これまでの三つの奇跡の連続において、イエスにおける神の権威と力が輝かしく示されています。「*風と波、無数の悪霊、そして死さえも、その言葉に即座に従うとは、いったいこの方は何者なのでしょう？*」

彼こそイエス...救い主です！主は私たちに、約束されたことを「*信じ続ける*」ように命じておられます。

## 第4段階：ガリラヤにおける大宣教

応用：

信仰とは、自然（奇跡13）、サタンとその悪霊（奇跡14）、死（奇跡15）など、創造物の中にあっても、神が約束したことを実行する力を持っていると信じることです。神は創造物に対して真に主権を持っているか、そうでないかのどちらかです。主権を持っているのであれば、神だけが、約束したことをすべて実現させる力を持っています。

イエスは、全宇宙を無から創造されたように、語られた他のすべてのことも必ず成し遂げてくださいます。イエスは、このような場面で、そのような信仰を實に見事に示されました。

神の言葉の中で、あなたの現在の状況と矛盾しているように思えるものはありますか？神は嘘つきか、あるいはあなたの現在の状況は最終的に神の言葉と一致するかのどちらかです。他に道はありません。

*神があなたの人生に働きかけ、神の言葉がすでにあなたに宣言していることを成し遂げようとしていることに対して、あなたはどうしてもっと神に感謝し、神を賛美できるでしょうか。*

神は、どのようにあなたに、ご自身が語られたことを信仰によって堅く守るよう呼びかけておられるのでしょうか。